



広報

SUMITA

2021

2

No737

自分の心の鬼をやっつけろ～!

2月2日の節分の日に、町内の保育園で豆まき会を開催しました。「ねぼすけ鬼」や「言うこと聞かない鬼」など、園児それぞれの心の鬼を退治しようと豆をまきました。(関連記事7ページ)



まいりました～



2月の主な内容

- P2 住田町総合計画
- P6 まちの話題「SUMITAうおっちゃんぐ」
- P8 保健だより
- P10 マナビィ通信
- P11 オリンピック聖火がやってくる!
- P12 お知らせ ほか

重点テーマ「医・食・住」 ～共生のまちを目指して～

町では、各政策分野のうち、「医・食・住」を重点テーマに掲げ、以下の事業に重点的に取り組んでいます。

★問い合わせ
企画財政課 政策推進係 ☎46-2114

医

ウェルネス・タウン・プロジェクト ～健康まちづくり推進事業～

医療資源が限られている本町では、このような環境を補う取り組みが、健やかでいきいきした暮らしにとって重要です。

■施策の内容

- 各種健診の実施、健康に関する情報発信と相談対応、介護予防教室などの実施
- 学校保健事業による健康教育、学校給食による食育、各種講座などによる健康意識の醸成や運動習慣の普及

○各種情報の発信

■KPI

- 特定健康診査の受診率 60%以上
- 内臓脂肪症候群該当者の割合
男性：15%以下 女性：10%以下
- 運動習慣者の割合 30%以上

■事業による効果

医療費抑制、介護サービス費の低減、生涯活躍できる素地づくり

食

フード・タウン・プロジェクト ～住田の食産業推進事業～

「食」は生命の源であり、楽しみや文化、健康維持としての側面も持ち合わせています。

これらの要素は、食材や食事といった形で提供されることでビジネスとして成立し、町の活気につながります。

■施策の内容

- 耕畜連携による循環型農業の構築、農林商工

連携による商品開発、販路開拓と拡大

- 町の顔となる林業ブランドの確立
- 関係人口などと連携した魅力の発信

■KPI

- 事業推進により創出する雇用数 5人以上

■事業による効果

雇用の場の創出

住

グッド・レジデンス・タウン・プロジェクト ～住まい環境改善総合対策事業～

町内への定住や町外からの移住に最低限必要になるのが住まいです。

豊かな自然環境に囲まれた住環境の提供が、安らぎや町外への魅力の発信につながります。

■施策の内容

- 町内の住宅建設・改修に係る相談窓口、町営住宅の整備
- 転入転出時におけるニーズなどの把握
- ハザードマップなどによる災害危険度の周知

○空き家バンクの運営、移住相談対応、暮らしに関する情報の集約と発信

■KPI

- 町整備の住宅への子育て世帯の新規入居 20世帯

■事業による効果

住宅ニーズに基づいた魅力ある住まいの供給、不動産情報の流通による住宅建設と既存家屋活用の促進

『医・食・住』を重点とした 住田町総合計画

『基本理念』

豊かな水と緑に生まれ
安らぎとにぎわいが調和する
共生のまち 住田

前計画の振り返り

新たに住田町総合計画を策定してからまもなく1年が経ちます。本計画は、現状や今後の見通しに基づき、町の目指すべき将来像や、これを実現するための取り組みの方向性などを中長期的な視点で定めているものです。町では、本計画に基づきながら各種施策に取り組んでいきます。

【子ども人口対策を確保】

町では、平成27年度に「町人口ビジョン・総合戦略・総合計画」を策定し、目標人口、基本目標などを掲げ、取り組んできました。しかしながら、人口は目標を下回るペースで減少しています。また、出生数や社会増減、移住者数は目標に届かず、児童数1学年40人の目標も達成には至りませんでした。が、婚姻数や合計特殊出生率は、ほぼ目標どおりに推移しています。

【まち生活環境対策】

生活圏内で必要な買い物などの生活・交通・医療の利便性が図られる環境整備

商店数、移動販売・買い物代行数、小売店売上高、小さな拠点での地域活動の目標は、ほぼ達成されているものの、買い物、道路交通、医療などに対する住民満足度は目標値を大幅に下回りました。

【しごと・所得対策】

町内にいながらできる「しごと」がありその仕事で生活できる収入を確保

	H27	H28	H29	H30	R1
目標値	5,743	5,656	5,569	5,482	5,395
実数	5,720	5,647	5,481	5,331	5,194
達成率	99.6%	99.8%	98.4%	97.2%	96.3%

▲本町の人口ビジョンの目標値と実数値

本計画の人口ビジョン

しごと分野での目標は、ほぼ達成されており、町民所得もほぼ目標並みに推移しています。

本計画では、前計画の目標人口「2040年に4000人」の目標を継承しています。町の取り組みによって、人口構造を変えることができる要素は、自然増減の「出生」と社会増減の「転入」「転出」です。

本町の自然環境や子育て、教育環境などの「強み」をより伸ばし、医療機関の少なさや交通機関などの「弱み」を解消し、「理想の町」を目指した取り組みを推進していきます。森林の「緑」と川の「水」に代表される自然こそが町の宝であり、その豊かで穏やかな自然から感じられる「安らぎ」と地域が生み出す「にぎわい」を調和させ、お互いが支え合い、誰一人取り残さない地域共生社会を目指したまちづくりを進めていきます。

多様な働き方を知り、働く姿をイメージ

住田高校で進路説明会を開催

2月17日、住田高校で進路説明会がオンラインで開催されました。

この説明会は、生徒が「多様な働き方を知ることで、将来自分が働く姿をイメージする」ことをテーマとして開催されたものです。

この日、説明会の協力者として参加した一般社団法人 Work Design Labの石川貴志さんとのつながりから、日本テレビ放送網株式会社の加藤聡さんが講師を務めました。

石川さんが代表理事を務める Work Design Lab は町が関係人口創出事業の一環で関係案内人の業務を委託していることもあり、今回、



▲モニターを通して意見を交わす講師と生徒たち

住田高校魅力化推進事業と関係人口創出事業がタイアップした形での説明会となりました。

変化していく自分と向き合うことが大事」と多様な価値観について講話。生徒は「たくさんの方に興味を持って、いろんなことにチャレンジしていきたい」と話しました。

講話では、加藤さんの今までの経験を説明し「やりたいことは変化していく、

生徒は「たくさんの方に興味を持って、いろんなことにチャレンジしていきたい」と話しました。

人権擁護委員として人権活動に寄与

瀧本さんと佐々木さんへ感謝状贈呈

1月22日、人権擁護委員を務めた瀧本正徳さんと佐々木照美さんに感謝状が贈呈されました。

人権擁護委員は、地域の皆さんから人権相談を受け、問題解決のお手伝いをしたり、法務局の職員と協力して人権侵害から被害者を救済したり、地域の皆さんに人権について関心を持ってもらえるような啓発活動を行ったりしています。

瀧本さんは平成21年1月1日から12年間にわたり活動。この間、県人権擁護委員連合会の男女共同参画委員、水沢人権擁護委員協議会の子ども人権委員なども務めました。

佐々木さんは平成

30年1月1日から3年間在任し、水沢人権擁護委員協議会男女共同参画委員を務めました。

ひとりお互いを大切に暮らしたい」と話し、佐々木さんは「3年間の活動だったが、世の中にはいろんな人がいると感じた。勉強になった」と振り返りました。



▲感謝状を受け取った佐々木さんと瀧本さん

男女共同参画社会の実現に向けて

サポーターに認定書伝達

1月21日、役場町民ホールで2020年度いわて男女共同参画サポーター養成講座認定書伝達式を開催しました。

同養成講座は、県と県男女共同参画センターが主催し、男女共同参画社会づくりに関する取り組みに意欲・関心がある人や、男女共同参画推進のために地域で活動したいと考えている人などを対象に開催されているものです。

本年度、町では新たに、水野正勝さんと中館桃子さんの2人が、県男女共同参画サポーターとして認定を受け、この日、神田町長より認定書を伝達されました。また、既にサポーターとして認定を受けていた、村上恵さ



▲認定書と修了証を受け取ったサポーターの皆さん

ん、篠原邦子さん、紺野満さん、紺野和美さんの4人は、スキルアップ講座を受講し、修了証を伝達されました。

館さんは「受講前は特に考えたこともなかったが、男女共同参画について多くのことを学べた。地区公民館主事として活かしていきたい」と話してくれました。

これまでの農業経営が高い評価を受ける

及川農園が農業奨励賞受賞

2月4日、大船渡地方農業振興協議会表彰伝達式を行い、有限会社及川農園（及川詔夫代表取締役）へ農業奨励賞と沿岸広域振興局長賞を伝達しました。

この賞は、優良な農業経営や豊かな農村生活、農産物加工、農村の地域づくりなどに奨励的な取り組みを実践している農業者などを表彰するものです。

及川農園は、梅の生産から梅干しの加工、販売までを一貫して行う会社で、事業開始当初から計画的に栽培面積、加工施設を拡大し、生産量を増やしてきました。その梅干しは高く評価され、関東圏の百貨店で販売されているほか、国内航空会社のファースト



▲表彰状を受け取った及川代表取締役(中央)

クラスの機内食としても提供されています。また、地元のスーパードでも販売され、地産地消にも貢献していることから、表彰されることとなりました。

表彰状を受け取った及川代表取締役は「コロナで大変な状況になってしまっただが、この賞を励みに今後も頑張っていきたい」と話してくれました。



▲久々のバレーに楽しくプレーする参加者

2月5日、生涯スポーツセンターで、第39回町長杯争奪バレーボール選手権リーグが開幕しました。
この大会は、町民の健康、体力づくりとバレーボールの普及、技術の向上を図るとともに愛好家の親睦を深め交流することを目的に開催されているものです。
本年度は9チームが出場し、1ヵ月間をかけ、総当たりのリーグ戦を繰り広げます。
昨年度は新型コロナウイルス感染症が流行し始めた時期と重なり、リーグ戦は途中で中止。久しぶりにバレーボールを楽しめる機会となったのではないのでしょうか。

**バレーボールの普及へ
ナイタリーグ開幕**



▲モニター越しに講話する荒井さん

1月28日、有住小学校の5年生を対象にオンラインで夢の教室が開かれました。講師は、シンクロナイズドスイミングで活躍した荒井美帆さんが務め、児童たちに夢の大切さについて講話。
荒井さんは「みんなが持っている夢をいろんな人に話してほしい。そうすれば多くの人がその夢を応援してくれるし、協力してくれる」と話していました。
これを受けて児童数人が「プロゲーマーになりたい!」「医者になりたい!」「社長になりたい!」「役場の教育委員会で働きたい!」などそれぞれの夢を発表しました。

**夢の大切さを教える
有小で夢の教室**

2月1日、役場町民ホールで地域創造学協力者会議を開催しました。この会議は、各学校の先生、教育委員会、地域創造学に協力している地域の方々が集まり、地域創造学の構想や学習予定、協力を要請したいことなどを協議するために開催したものです。
当日は、5グループに分かれて協議。本年度地域創造学に協力した方から「初めから教えすぎて、子どもたちの気づきを減らしてしまった」「事前の打ち合わせが必要」「フィードバックがあると良い」などの意見が出され、今後の地域創造学の在り方を考える機会となりました。

**子どもたちの手助けに
地域創造学協力者会議**



▲今後の方向性などを話し合う参加者

2月5日、下有住いきいき活動協議会(金野純一会長)がそば打ちおさらい会を開催しました。
この会は、地区民の「そばの打ち方を忘れてしまった」という話がきっかけで、一年に一度はそば打ちの技術を思い出して、下有住産のそばを食べてもらいたいという思いから開催されたものです。
新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、全9回に分け、1回ごとの参加者数を5人までとするなどの対策をして実施。
この日の参加者は「人生と一緒で思うようにいかないね」とそば打ちの難しさを話してくれました。

**下有住産のそばを使って
そば打ちおさらい会**



▲慣れないそば打ちにチャレンジ!



▲ホールインワンを目指して

2月3日、生涯スポーツセンターで教育委員会主催の室内グラウンドゴルフ教室を開催しました。
この教室は、心身のリフレッシュや運動不足を解消するために開催したものです。
教室の初日となったこの日は、町内のグラウンドゴルフ愛好者20人が参加し、室内でグラウンドゴルフを楽しみました。
屋外とは異なるクラブやボールを使用するため、普段とは勝手が違う場面も見られましたが、ホールインワンが続出するなど、愛好者の皆さんの実力をたくさん垣間見ることができました。

**心身のリフレッシュに
室内グラウンドゴルフ**



▲雑巾を手渡す田中営業所長(左)

1月28日、明治安田生命保険相互会社大船渡営業所の田中慎悟営業所長ら3人が来庁し、雑巾100枚を寄贈しました。
寄贈された雑巾は、すべて社員が手縫いしたもので、社員それぞれから心あたたまるメッセージカードも添えられていました。
田中営業所長は、「コロナ対策で雑巾を使うと聞いていた。感染防止対策に役立てもらえれば。手縫いということ、人と人のつながりなどを感じてもらえるとさらに嬉しい」と話しました。
寄贈された雑巾は町内の小中学校に配布し活用する予定です。

**明治安田生命
手縫いの雑巾を寄贈**

2月2日の節分に、町内の保育園で豆まき会を開催しました。節分は、文字どおり季節の分け目が起こりがちということから、悪いことを鬼に見立て、豆をまいて追い払い、健康で幸せに過ごせるようにという意味が込められています。
有住保育園では園児たちが「ねぼすけ鬼」「ごはん早く食べない鬼」「早く寝ない鬼」「言うこと聞かない鬼」など自分の心の鬼を発表した後、鬼が登場し、園児みんなで豆をまき、鬼をやっつけました。
園児は「鬼をやっつけられて良かった」と笑顔を見せてくれました。

**鬼を退治できたかな?
町内保育園で豆まき会**



▲鬼は～外、福は～内

1月24日、役場町民ホールで消防出初式を開催しました。
本年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、分列行進は中止。規模を縮小して式典のみ開催し、防災への意識を高めました。
町消防団佐藤清司団長は「今年もまちがいなくコロナ禍の1年になると思うが、準備を怠らず一歩一歩前進しよう」と訓示しました。
消防団無火災表彰では、4年間達成の第3分団、3年間の第4分団、2年間の第2分団、婦人消防協力隊無火災地区隊として、4年間無火災の大股、3年間の下有住各隊が表彰を受けました。

**消防防災の決意新たに
町消防出初式**



▲消防防災への決意を新たにした参加者

糖尿病を 防ごう！ 糖尿病を予防する運動のポイント！

今年の冬は、例年に比べて雪も多いことから、つつい家に閉じこもりがちです。糖尿病予防を考えた場合、運動をすることで「ブドウ糖を消費して血糖値を下げる」「肥満を解消して、インスリンの働きを高める」といった効果があります。以下のことを参考に、毎日無理なく続けられる運動を生活の中に取り入れ、実践してみましょう！

今からできる運動5カ条！

①有酸素運動が効果的です！

酸素を十分に取り入れて、体全体の筋肉を使う運動を「有酸素運動」といいます。ウォーキングやジョギング、サイクリング、水泳などの運動を、週に3回以上、合計150分以上を目安に行いましょう。



②筋肉をつけて基礎代謝をアップ！

加齢とともに筋力は衰えます。筋力トレーニングは「からだの基礎」をつくり、筋力が増えると基礎代謝がアップするため、太りにくい体をつくれます。腹筋、腕立て伏せ、スクワット、四つ這いバランス、この4つのトレーニングで全身の約70%の筋肉を鍛えることができます。連続しない日程で、週に2～3回がおすすです。



③バランス運動もプラスしよう！

高齢期になると、「立つ」「歩く」ために必要なバランス能力が低下し、転倒しやすくなります。片足立ちや体幹バランス運動など、手軽にできる運動が多いので、すぐに始めてみましょう。



④毎日続けられる運動を！

毎日のちょっとした家事も、意識して取り組めば「運動」のひとつになります。階段や坂道の上下りも筋力アップに効果的！歯磨きしながら背伸びをしたり、かかとの上げ下ろしをしたり、テレビを見ながら横向きに寝ころんで足を上げたり下げたりするだけでも、ちょっとした筋トレになります。自分が毎日続けられる運動を選びましょう！



⑤年齢に合わせ無理をしないようにしましょう！

運動は、有酸素運動と筋力トレーニングを組み合わせると効果があります。しかしながら、高齢者の方には、有酸素運動は体への負担が大きすぎる場合もあるため、そんなときは無理をせず、筋力トレーニングだけでも効果的です。年齢に合わせた運動を、その日の体調に合わせて、無理をせずに！それが、長続きのコツです！



★問い合わせ 保健福祉課 健康推進係 ☎46-3862

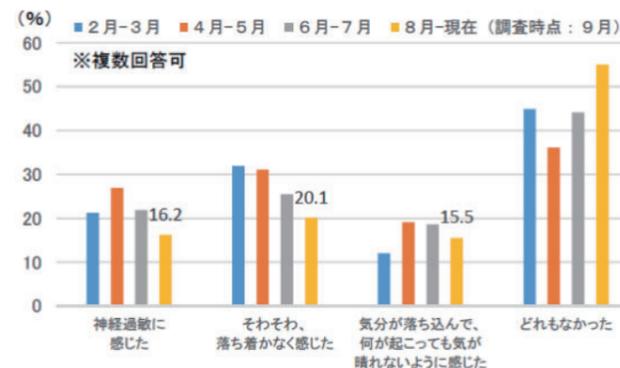
保健だより

思いやりのある冷静な行動を

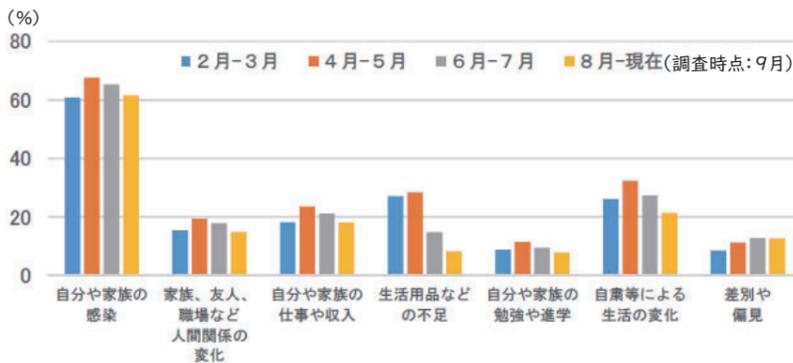
心がけましょう

新型コロナウイルス感染症の感染拡大やそれに伴う生活の変化により、一人ひとりがさまざまな不安、ストレスを抱えながらの暮らしが続いています。

厚生労働省が行った新型コロナウイルス感染症に関する心理面の健康調査によると、約半数の人が、



▲新型コロナウイルス感染拡大に伴い感じたこと(出典:厚生労働省)



▲新型コロナウイルス感染症の感染拡大に際して不安に思ったこと(出典:厚生労働省)

「何らかの不安を感じながら生活をしている」という結果が出ています。感じている不安の内容として最も多かったのが「自分や家族

の感染への不安」でした。新型コロナウイルス感染症は「見えない相手」です。自分たちを脅かす相手が見えないことによる不安のあまり、見える対象である、感染してしまった人や日ごろから私たちの健康を支えてくれている医療従事者への差別や偏見を生むこともあり得ます。新型コロナウイルス感染症は誰がかかってもおかしくない病気です。誰もが安心して治療を受け、回復に向かえるよう、新型コロナウイルス感染症を理由にした不当な差別、偏見などは絶対に行わないでください。

また、新型コロナウイルス感染症に関して、さまざまな情報が行き来することがありますが、正確な情報や事実と異なる情報もあり得ます。このような情報をむやみに拡散することなく、厚生労働省や県、町からの正しい情報を確認し、お互いに思いやりを持った冷静な行動をお願いします。

医療従事者、ライフラインを支える業務の人、治療を受けている人やその家族、さまざまな立場で自身でできることを懸命にしながら生活しています。お互いに感謝といたわりの気持ちを持って生活しましょう。

こんな行動していませんか？

- 感染した人の個人情報を探し、拡散する
- インターネットやSNS上での誹謗中傷、事実ではないことの拡散
- 治療を終え、復帰した人への差別
- 医療従事者やその家族に対する差別や誹謗中傷
- 県外から来訪した人への差別や非難



■ マスクをしていない人への非難
※感染予防としてマスク着用は大切ですが、さまざまな事情により着用が困難な人もいます。



★問い合わせ 保健福祉課 健康推進係 ☎46-3862

笑顔で灯そう。幸せの火。希望の火。



ギリシャ・オリンピック市で採火されたオリンピック聖火が町へやってきます。聖火を直接ご覧いただける貴重な機会となりますので、ぜひ、ご来場ください。

展示された聖火は、3月25日から全国各地を聖火リレーで巡ります。

★日時
3月16日(火)
13時30分～16時

★場所
役場町民ホール

★展示内容
・東京2020オリンピック聖火

※来場される方は、手指消毒、マスク着用、検温(37℃以上の方は入場できません)へのご協力をお願いします。

お問い合わせ
東京2020オリンピック・パラリンピック聖火事業等岩手県実行委員会
〒019-6291
教育委員会
生涯学習係
☎46-3863



聖火リレートーチ など
※カメラ、スマートフォンなどで記念撮影ができます。

★入場料 無料
★ホームページ
「岩手県 聖火展示」で検索

なお、全戸配布するチラシ裏面の受付票に必要事項を記載し、持参の上ご来場ください。

※新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況により中止となる場合があります。

オリンピック聖火がやってくる！ 〜東京2020オリンピック聖火展示〜

すみたまナビ通信

生涯学習に関する情報コーナー 住田町教育委員会

★地区公民館ってこんなところ！⑤五葉地区★

五葉地区では、五葉地域づくり委員会が計画し、さまざまな活動を行っています。本年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止となったイベントもありますが、コロナ禍でもできることを皆さんと模索しながら活動しています。

その活動の中で、地域防災には皆さんの意識も高く、町社会福祉協議会と協力し、各集落が集まって五葉防災マップを作成できたことはとても良かったと思います。

また、休耕田の活用として、昨年度はサツマイモ、本年度は梅の木の植樹といった新しいことにチャレンジしています。本年度のサツマイモは、豊作で大きいものがたくさん収穫できたため、何か商品化できないか模索しているところです。梅の木は苗木を50本購入し、15本を植樹、残りは今年の春に植える予定です。地域の皆さんのアイデアに支えられて活動ができることに感謝しています。

コロナ禍ではありますが、地域の皆さんが楽しく過ごせるように今後も活動していきたいと思っています。

★問い合わせ 教育委員会 生涯学習係 ☎46-3863



五葉地区公民館
主事 紺野 満さん



防災マップづくり



梅の木の植樹

スポーツ保険に加入しましょう

「スポーツ安全保険」は、アマチュアスポーツ・文化・ボランティア・地域活動を行う団体を対象に、グループ活動中の傷害事故・賠償責任を負う事故を保証する保険です。

万一のけがや事故に備えてスポーツ保険に加入しましょう。



対象者	補償対象活動	加入区分	年間掛金 (一人当たり)	補償額(傷害保険)			
				死亡	後遺障害 (最高額)	入院 (日額)	通院 (日額)
子ども (中学生以下)	スポーツ・文化・ボランティア・地域活動	A1	800円	2,000万円	3,000万円	4,000円	1,500円
	スポーツ・文化・ボランティア・地域活動	AW	1,450円	2,100万円	3,150万円	5,000円	2,000円
	上記以外(個人活動など)			100万円	150万円	1,000円	500円
大人 (高校生以上)	スポーツ活動、指導・審判※64歳以下	C	1,850円	2,000万円	3,000万円	4,000円	1,500円
	スポーツ活動、指導・審判※65歳以上	B	1,200円	600万円	900万円	1,800円	1,000円
	文化・ボランティア・地域活動など	A2	800円	2,000万円	3,000万円	4,000円	1,500円
全年齢	危険度の高いスポーツ活動(アメフト、山岳登山など)	D	11,000円	500万円	750万円	1,800円	1,000円

県内33市町村巡回展示として、オリンピック・パラリンピックのトーチが展示されます。

このトーチは聖火リレー本番で使用されるものと同じもので、両方のトーチを同時に見ることができるとは大変珍しいので、ぜひご来場ください。

★日時
3月8日(月)
10時～16時
3月9日(火)

東京2020オリンピック・パラリンピックトーチ展示について



▲オリンピック・パラリンピックトーチの展示イメージ

10時～16時
★場所 町社会体育館

※来場される方は、手指消毒、マスク着用、検温(37℃以上の方は入場できません)、受付票記載、上靴持参へのご協力をお願いします。

※新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況により中止となる場合があります。

お問い合わせ
教育委員会 生涯学習係
☎46-3863

宝くじ助成を活用し「防火防災訓練用資機材」を整備

大船渡地区消防組合消防本部では、一般財団法人自治総合センターが行う宝くじの社会貢献広報事業の助成を受けて、心肺蘇生訓練用マネキン10台とAEDトレーナー3台を整備しました。
この資機材は、心肺蘇生法やAEDの取り扱い方法を訓練できる

ものです。今後、婦人防火クラブ員など自主防災組織員や地域住民へ応急手当の方法をより普及させるために活用していく予定です。

★問い合わせ

大船渡地区消防組合本部
☎ 27-2119



▲「防火防災訓練用資機材」

国民年金などに関する社会事務相談(3月分)

一関年金事務所では、社会事務相談会を下記のとおり開催します。予約制となりますので、相談を希望する方は開催日の前日までに一関年金事務所(☎0191-23-4246)までお申込みください。

会場	開催日	開催時間
大船渡市役所	25日(木)	10:30~15:30

令和2年分の確定申告期限と納期限について

★令和2年分の確定申告期限と納期限

- 申告所得税及び復興特別所得税・贈与税 4月15日(木)
 - 消費税及び地方消費税 4月15日(木)
- 納税には金融機関の口座から自動的に納税できる振替納税をご利用ください。一度の手続きで継続して利用できます。ご利用の方は事前に預貯金残高をご確認ください。

★令和2年分確定申告分の振替日

- 申告所得税及び復興特別所得税 5月31日(月)
- 消費税及び地方消費税 5月24日(月)

★問い合わせ 大船渡税務署 ☎ 26-3481

森林経営管理に関する調査への回答をお願いします

所有者自ら管理することが難しい森林については、町と管理方針を相談した上で、林業に適した森林は林業事業体に管理を再委託し、林業に適さない森林は町が管理する「森林経営管理制度」ができました。

町では、この制度の実施にあたり、森林所有者の皆さまに所有する森林の管理状況や今後の管理方針についての意向調査を行うこととし、本年度は五葉地区に森林を所有する皆さまに調査票を送付していますので、回答へのご協力をお願いします。なお、他地区に存在する森林は来年度以降、調査票を送付する予定です。

★問い合わせ 林政課 林政係
☎ 46-3868

工事などの入札結果をお知らせします

工事・業務名	契約年月日	契約額	契約業者
世田米浄化センター無停電電源装置更新工事	3年1月25日	3,355,000円	共立電気株式会社
町営住宅川向団地浄化槽解体工事	3年2月1日	5,115,000円	株式会社齊藤工業
町道松山線維持修繕工事	3年2月1日	5,390,000円	株式会社住田ブロック建設
町有住宅解体工事	3年2月1日	2,530,000円	株式会社住田ブロック建設

家電といえば、
いつの時代もワクワクさせる。
あなたの町のでんき屋さん
(有)ハーネット
住田町世田米字川向12-1 ☎ 46-2363 FAX 49-1015
http://www.a-hanet.co.jp

きこえと補聴器の相談
実施日 3月30日(火)
時間 10:00~13:00 八日町集會センター
相談内容●聴力測定による医療機関及び行政への申請指導●補聴器の定期点検、無料試聴貸し出し
認定補聴器専門店
大船渡店: 大船渡市盛町字町10-17
☎ 0192-21-1252
認定補聴器専門店
若手リオン
補聴器EJ3
URL http://www.iwaterion.co.jp

マイナンバーカードの取得はお済みですか?

3月からマイナンバーカードが健康保険証として利用可能になることなどを踏まえ、マイナンバーカードをお持ちでない方に対し、地方公共団体情報システム機構からオンライン申請が可能なQRコード付きマイナンバーカード交付申請書が1月から3月にかけて順次発送されています。※ただし、次に該当する方には再送付されません

- 令和2年10月31日時点で75歳以上の方
- 令和2年中に出生、または国外から転入された方
- 在留期間の定めのある外国人住民の方

今回送付された申請書を使用して、郵送やパソコン、スマートフォンで手軽にマイナンバーカードの交付申請ができますので、この機会にぜひ申請することをおすすめします。詳しい申請方法は、通知に同封の説明書類をご覧ください。

◆マイナンバーカードの受け取りについて
カードの受け取りは、申請者の本人確認のため役場窓口にお越しいただく必要があります。申請から受け取りの案内通知書が送付されるまで約1カ月かかります。案内通知書が届いたら、役場窓口でご本人がお受け取りください。ただし、15歳未満の方や成年被後見人の方は、親権者などの法定代理人と一緒に窓口にお越しいただき、法定代理人がお受け取りください。

◆マイナポイントの申し込みをお手伝いします
マイナポイントの申し込みを行う環境がない方は、役場窓口で申し込みのサポートしていただきます。お気軽にご相談ください。

★カード全般に関する問い合わせ
マイナンバー総合フリーダイヤル ☎ 0120-95-0178
★カードの交付手続きに関する問い合わせ
町民生活課 戸籍係 ☎ 46-2113

令和3年度 住田町奨学生を募集します

町では、進学するための学費などが必要な方へ、無利子で奨学金を貸与します。また、卒業後に町内に戻り就職した方に対する「返還免除制度」を実施しています。

◇応募できる方
①本町に住所がある方の子
②高等学校、大学などに在学している方または進学される方
③学費などの支払いが困難と認められる方
※すべてを満たしていることが条件になります。なお、奨学生は選考委員会の審査を経て決定します。

◇貸与月額
①高等学校 2万円
②大学等・林業担い手枠・看護職枠 4万5千円
③入学一時金 5万円以内
④大学等・林業担い手枠・看護職枠 30万円以内

※看護職枠・林業担い手枠とは?
保健師や助産師、看護師に関する分野、林業経営などに関する分野を専攻している方の専門枠です。

◇募集人数
①一般枠(高等学校、大学など) 5人程度
②看護職枠 2人
③林業担い手枠 1人

◇申込方法
申請書に必要事項を記入し、教育委員会まで郵送または持参してください。なお、申請書は教育委員会に配布するほか、町ホームページからダウンロードできます。

◇申込期間
4月12日(月)まで
【返還金免除制度】
町では、一定の条件を満たした方について、貸付金額の最大半額を免除する「返還免除制度」を実施しています。主な条件は次のとおりです。
①返還開始から5年間継続して町内に居住
②継続して就労している
③返還計画が10年間

★申込・問い合わせ
教育委員会 学校教育係
☎ 46-3863

民間車検工場
学校生協指定整備工場・自動車販売
(有)遠藤モータース
住田町世田米字大崎25-10
☎ 46-2128 ☎ 46-2139 (FAX 共通)

高齢者クリニック開催します!
いつまでも運転をつづけたいなあ。そんな方をサポートします。

開催日時 4月26日 9時30分から
場所 遠野ドライビングスクール
料金 5,000円(昼食代含む)
※法律で定められている講習ではありません。

遠野ドライビングスクール
TOHNO DRIVING SCHOOL
TEL 0198-63-2080まで

すみだ想い人

このコーナーでは、町外で活躍する町出身の若者を紹介します。



よしき
紺野 祥己さん(25歳・八日町)

今は地元を離れ、埼玉県でリラクゼーション関係の仕事をしています。1人でも多くの方に満足していただけるように、日々奮闘しています。今年は店長になることを目指しているため、リーダーとして相応しくなれるように頑張ります。

地元住田が大好きなので、学んだことを活かし、いつか住田に恩返ししたいです！

Happy Wedding



このコーナーでは幸せいっぱいの新婚さんを紹介します。



みなみ みき
小野田海波さん・未樹さん

とびだせちびっ子



◇このコーナーでは、町内のかわいい1歳児を紹介します

『おねえちゃんから一緒に遊ぼうね』



ひまり
千葉日葵ちゃん(女)

(満さん・実穂子さん:中上)

おいしく&ヘルシー 減塩レシピ

◇高血圧や糖尿病などの生活習慣病を予防するおすすめ料理を紹介します！！



認知症予防☆
「サバ缶de簡単卵とじ」
DHAやEPAといった認知症予防に効果的な栄養素がたっぷりのサバ缶!! 加熱済みなので時短・調味いらず、保存がきくため、災害時の非常食にも活用できます☆

《材料》4人分

サバ缶(水煮)	1缶(160g)
卵	4個
玉ねぎ	1/2個(80g)
人参	40g
万能ねぎ	20g
A	しょうゆ 小さじ2
	みりん 小さじ2
	水 1カップ

1人分栄養量 173kcal
塩分 0.8g

【作り方】

- ①玉ねぎは薄くスライス、人参は3~4cm位の拍子切り、万能ねぎは細かく刻む。
- ②フライパンにサバ缶を汁ごと全部入れ、玉ねぎ・人参・水を加えて煮る。煮えたらAの調味料で味付けをし、溶き卵を回し入れ、万能ねぎを散らして、出来上がり!!

★問い合わせ 保健福祉課 46-3862

□発行 住田町
□〒029-2396
岩手県気仙郡住田町世田米字川向88番地1
☎0192-46-2111(代) FAX0192-46-3515
□URL <https://www.town.sumita.iwate.jp/>
□E-Mail webad@town.sumita.iwate.jp

広報すみた本号の印刷経費は1部75円、発行部数2,400部です。経費の一部は広告料で賄われています。

